

# しょうふくじ 正福寺



本堂外観



本堂内陣

新座市正福寺は昭和六十二年五月山梨組正福寺の分院としてスタートしました。

山梨組正福寺は、元は真言宗の寺として開基され、その後浄土真宗に転宗し、その地で十八代続きました。しかしその後昭和の初期より五十数年無住の時代があり、十九代目の住職が就任した時にはご門徒も離れており全くいない状態でした。また、本堂・庫裏などの建物も無く唯一残っていたのは、ご隣寺様が預かって下さっておられました、ご本尊様阿弥陀如来様だけでした。

十九代目住職は埼玉県西部に住まいしていましたので、その地域での都市開教を志し新座市に分院を開設致しました。

現住職は平成十八年に住職資格を取得し平成二十三年に浄土真宗本願寺派に正式に包括され非法人教会「正福寺教会」となり、翌、平成二十四年埼玉県庁より承認を受け「宗教法入正福寺」となりました。

現在の活動としては、月に一度の定例法座、春、秋の彼岸会、七、八月の盂蘭盆会法要、永代経法要、報恩講法要、元旦会、新年会、並びに月に一度、仏教賛歌を歌う「正福寺合唱団」を通して御門信徒と広く仏縁を深めてまいりました。今後も、この様な活動を通じ一人でも多くの方々が参加して下さいますよう精進してまいります。